

女性の活躍についての現状認識及び課題

1. 国政モニターインターネット調査
「若者・女性活躍推進に関するアンケート調査」
2. 内閣府男女共同参画局公式フェイスブックページ
における意見募集

より

1. 国政モニター インターネットアンケート調査 「若者・女性活躍推進に関するアンケート調査」

【調査概要】

①調査方法	インターネットによるアンケート調査
②アンケート調査期間	平成25年3月15日(金)～24日(日)
③調査対象	平成24年度国政モニター 581名
④有効回答者数	219名 (有効回答率 37.7%) 男性 145名、女性 74名

(1) 女性の活躍について

- 身近な女性の活躍について、「活躍している」、「どちらかといえば活躍している」と答えた方は、全体では62.1%。
- 「どちらかといえば活躍していない」、「活躍していない」は、全体では37.9%。特に、子ども（18歳以下）がいる女性では72.2%と、「活躍していない」という認識を持つ人の割合が高い。
- 活躍できない理由としては、全体で、最も割合が高かったのは、「女性が働きにくい仕事・職場環境だから」の42.2%。続く、「家庭での家事・育児・介護などが大変だから」(28.9%)は、女性は41.9%で、男性の21.2%を大きく上回る。

図1 女性の活躍についての認識(単数回答)

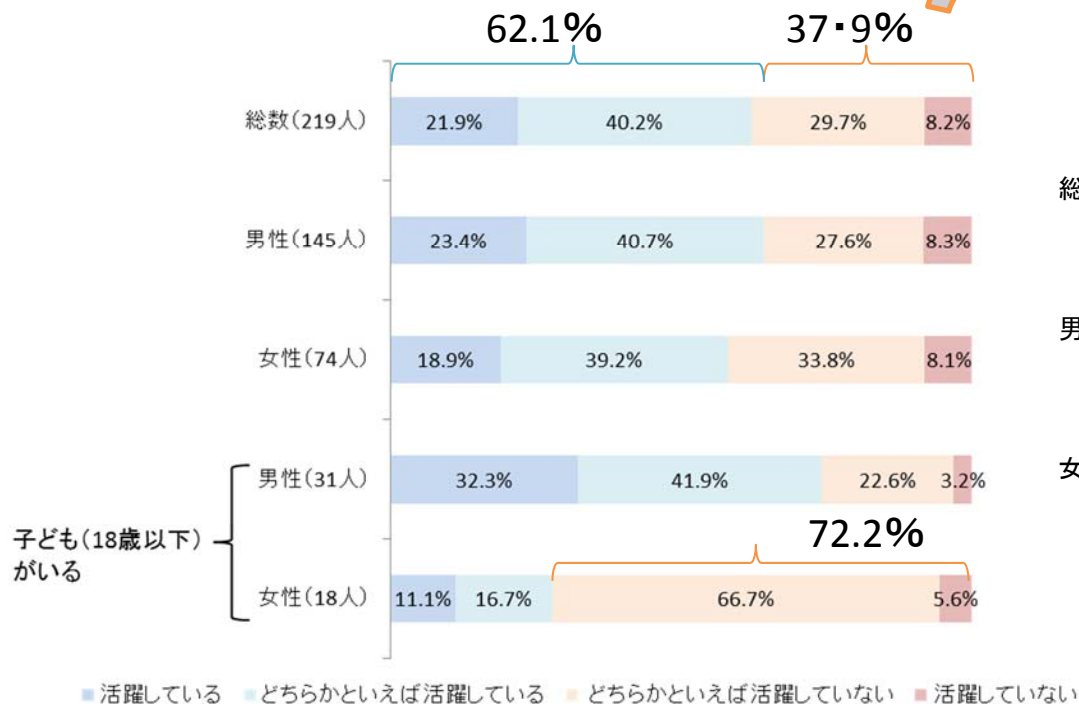
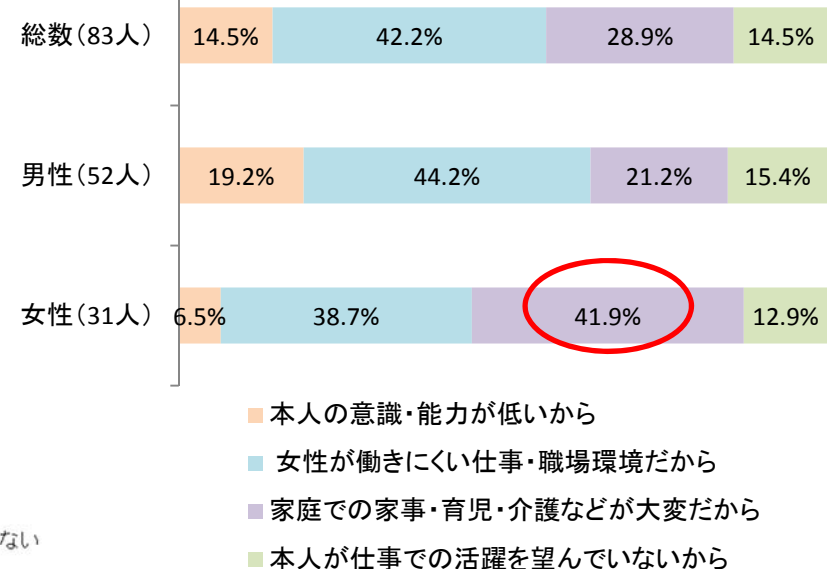


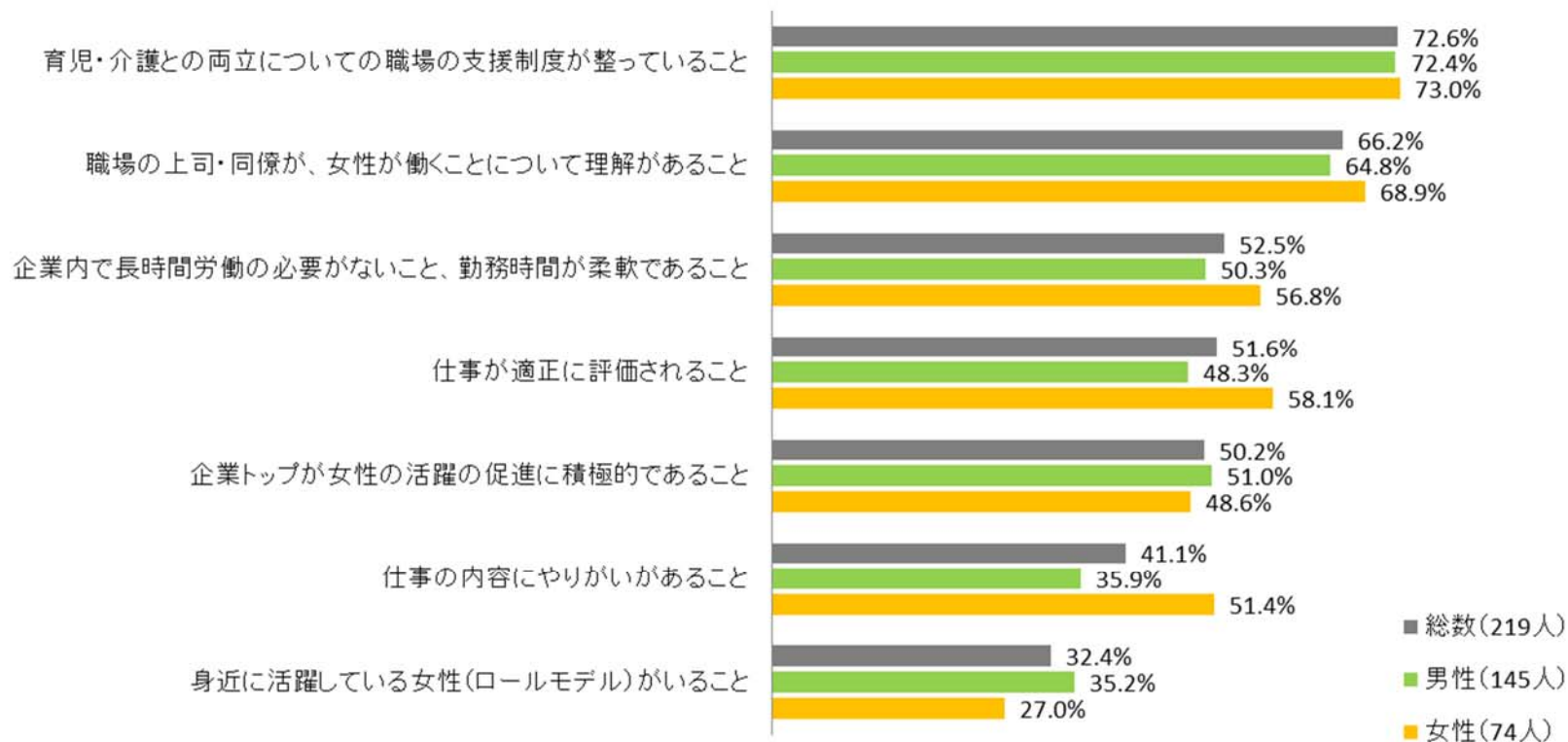
図2 活躍できない理由(単数回答)



(2) 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なこと

- 「育児・介護との両立についての職場の支援制度が整っていること」が男女共に7割以上。
- 「職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること」、「企業内で長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること」が男女共に半数以上。
- 「仕事が適正に評価されること」(男性48.3%、女性58.1%)や「仕事の内容にやりがいがあること」(男性35.9%、女性51.4%)では、女性の方が必要と考える割合が高い。

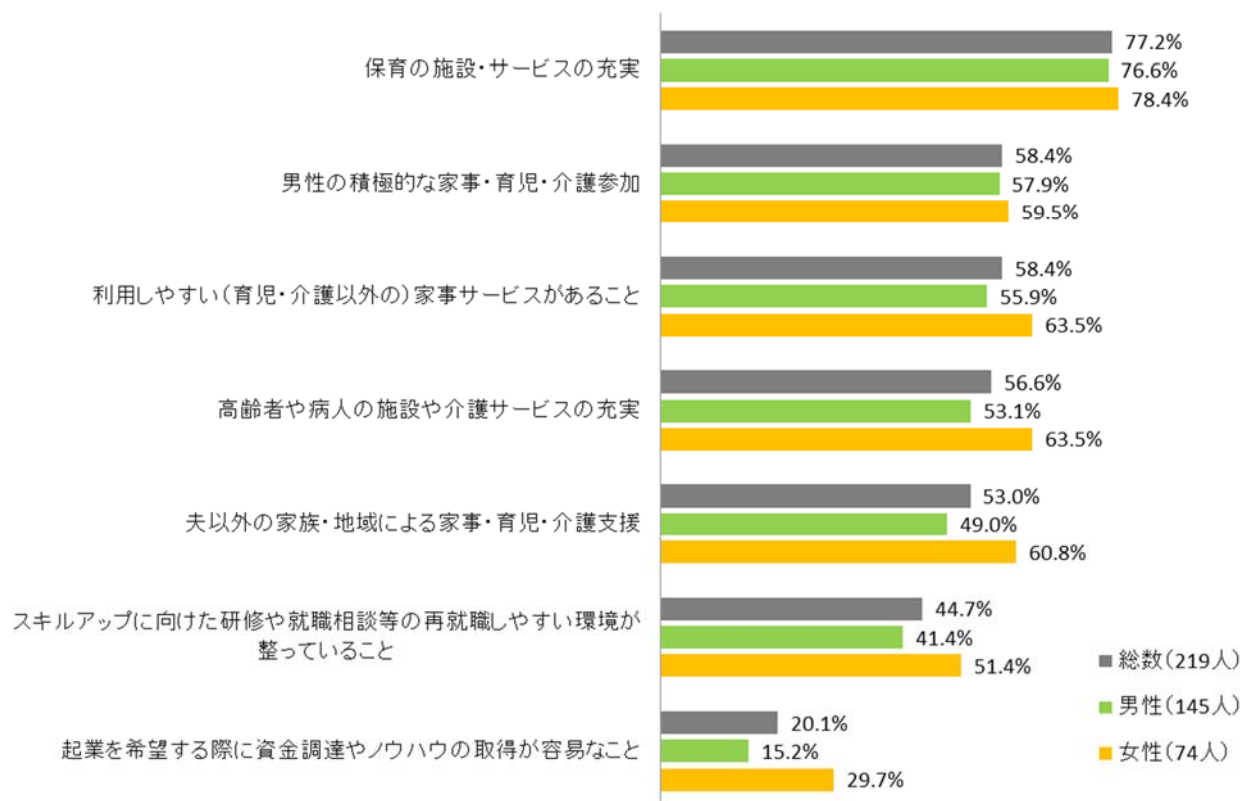
図3 仕事・職場環境として必要なこと(複数回答)



(3) 女性の活躍が進むために、家族や社会等からの支援として必要なこと

- 「保育の施設・サービスの充実」が男女共に7割以上。
- 「男性の積極的な家事・育児・介護参加」、「利用しやすい家事サービスがあること」、「高齢者や病人の施設や介護サービスの充実」や「夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援」は、全体で、半数以上。
- 女性では、「再就職しやすい環境」が半数以上で、「起業を希望する際の資金調達やノウハウの取得が容易なこと」も3割近くを占める。

図4 家族や社会からの支援として必要なこと(複数回答)



(4) 女性活躍推進に向けてのご意見について

主に、以下のようなご意見がありました。

- ・保育所の整備/待機児童減少に向けた柔軟な対応、病児保育の拡充
- ・会社・経営者の女性の活用に関する意識の改善
- ・長時間労働の是正
- ・社会に「育児・家事」は女性の仕事という閉鎖的・保守的意識が根強い
- ・正社員での再就職が可能な環境づくり
- ・身近なロールモデルの重要性

等

2. 内閣府男女共同参画局公式フェイスブックページにおける意見募集

意見募集概要

期間 2013年3月1日～4月15日

問い

☆「女性の活躍の推進」に関するご意見を、大募集☆

- ・こんなことがあるから、女性の活躍が進まない！
- ・こんなことがあれば、女性の活躍が進む！

当Facebookでは、女性の活躍に必要な制度、取り組み、対応すべき領域など、男女問わずみなさんの体験にもとづく多様なアイデアを募集します。

あなたの”熱いご意見”や”アイデア”をお待ちしています！

頂いたアイデアは、今政府で進めている「若者・女性活躍促進フォーラム」の議論にも取り入れていく予定です。

コメント欄にどんだんご意見ください。
&お友達への「シェア」大歓迎！ですー！

若者女性活躍推進フォーラムについては以下ご参照ください。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ywforum/>

主な意見

- ・労働時間の減少などの労働環境の改善。
- ・家事・育児は女性といった社会の意識の変革。
- ・性差別意識の撤廃、LGBTを含めた人権の推進。
- ・パートタイム労働者への差別撤廃。
- ・子育て後の社会参画への支援。
- ・家事・育児を男性と女性がバランスよくシェアできる社会への制度づくり。
- ・専業主婦の大切さを認識する。
- ・夫婦別姓を選択肢に。